

平成29年度 第1回総合教育会議報告

日 時 平成29年4月7日（金）午後2時から午後2時50分まで
場 所 本庁舎3階 第2・第3・第5委員会室
出席者 石井市長、小泉教育長、藤本政一教育長職務代理者、中村順一郎教育委員、
天野ますか教育委員、野尻正人教育委員、庄司有紀教育委員
兼子総務部長、石井企画財政課長、杉本企画財政課企画担当リーダー、
企画担当鈴木、井上教育次長、小俣学校教育課長、鳶木学校教育課
学校づくり担当リーダー
傍聴者 0名

市長挨拶

皆さまこんにちは。このところの陽気で春に日々近づき、桜の開花も信玄公祭りに間に合ったのではないかと。大月市内も桜が一斉に咲き始めたところである。

本日は、平成29年度第1回大月市総合教育会議を開催するが、教育委員の皆さまには日頃から本市の教育行政の推進に大変ご尽力をいただき心から感謝申し上げます。

小中学校の適正配置が完了するとともに、校舎の建て替え整備も終了し、小中学校の空調設備も未設置であったが、文部科学省の補助事業が全ての学校で採択され、今年度中には残された4校の小中学校への設備が整うこととなった。

子ども達においては、これまで以上に、より良い学校生活を送れると考える。

今後は、児童生徒のソフト面での更なる教育環境の整備を図っていくことが大切である。

本年度から組織機構の見直しに伴い、学校教育課内の担当の改編を行い、学校づくり担当とこどもの学び支援担当と名称の変更を行った。

大月市内の児童・生徒が、より良い教育環境で勉学に励めるよう大月独自のふるさと教育を従来から本市が目指している教育であるが、次世代を担う子ども達がたくましく個性豊かで大月に愛着が持てるような魅力のある教育を推進して参りたい。

このテーマであるが、市民会議の「大月みらい協議会」においても、ふるさと教育を重点に議論していただいている。今後は、教育委員会と「大月みらい協議会」が一堂に会して色々な議論をすることも考えている。

本日の議題であるが、平成29年度の学校教育の指針についての1件であるが、活発な意見をいただきご審議願いたい。

教育長挨拶

こんにちは。平成29年度第1回総合教育会議開催にあたり、大月市の教育の骨となる部分を皆さんで共有する機会が得られたことを嬉しく思う。

大月市の未来を担うのは大月の子ども達であり、大月の未来を創るのも大月の子ども達である。

子ども達の健全育成のため学校教育のみならず、子ども達が学ぶ、家庭・地域あるいは様々なところで豊かに学び成長することを応援していかねばと考える。

大月市では、「ふるさと教育」を掲げている訳であるが、少子化・核家族化の中では、子育ての形成がうまくいかなかったり、子育てに悩む家庭があったり、地域社会の希薄化の中、子ども達に無関心であったり、世代間の交流が思うように進んでいない地域が現実にはある。

家庭の教育力や地域の教育力を再生する中で、子ども達の豊かな学びと併せて、家庭や地域が子ども達と関わることで、家庭や地域が更に元気をもたらえるような教育を進めていくことができればと思う。

学校・家庭・地域が相互に連携して、お互いが元気になるような教育を皆さんのお力で創っていきたい。

この後、大月市の学校教育指針について説明するので、その際に具体的に伝えたい。

議 事

(1) 平成29年度大月市学校教育の指針について

説明者 小泉教育長

【内容】

「平成29年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

【協議結果】

協議の結果、承認された。